

主体的・対話的で深い学びの実現

対話的な学びが実現できているか

たとえば、**ペア学習やグループ学習を位置付けたのに**、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返ってみましょう**。



ある

予定していたグループ学習の時間が、いつもオーバーしてしまう。



対話のツールを使っているのに、考えが深まっていけない。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から**掘り下げて**みましょう。

話し合う内容が焦点化されていないなどの話しづらさはありませんか？

ツール等の方法が問題ではなく、話し合うテーマに必然性が足りないのでは？

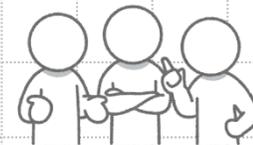
こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を**見直して**みましょう。



「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流して**みましょう。

メモ



【参考】「対話的な学び」の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。

(文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」平成29年6月)

試みたいこと

「対話的な学びが実現できているか」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「対話的な学びが実現できているか」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈学習指導〉⑧〈指導方法〉Doに関連しています。